

(別紙)

令和8年度 第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

1 開催日時・場所

令和8年9月8日(火) 15:00~17:00

関東森林管理局 天竜森林管理署 会議室

2 議題

(1) 木材の需給動向について

(2) 国有林材の供給調整について

3 検討結果

原木の出材量については、スギ・ヒノキとも大幅に減少している。例年、梅雨時期については原木価格が落ち込む傾向であった。しかし今年のスギについては引合が強く概ね横ばいである。ヒノキについては、地域差はあるものの需要の低下に伴う価格の下落が続いており、梅雨時季が過ぎた後にこの状況が続いていくか不安が残るところである。

国際情勢の変化による現場での影響については、燃料等の高騰等及びナフサ供給不足による接着剤や副資材などの調達について不安が残るところであり、原木の価格に転嫁できず川上側へのしわ寄せが懸念される等、先行きは不透明であることから今後の状況を注視していく必要がある。

以上のことを踏まえ、現時点では国有林材の供給調整は不要と判断される。国有林においては、各地域の状況を踏まえた的確な供給に取り組むとともに、供給調整が必要となった場合に備え、地域の実情に即して機動的に対応策が打てるよう引き続き検討をお願いする。

4 主な情報、意見

○ 原木については出荷の減少がみられ、在庫も少なく販売も減っている。スギの柱が栃木県や茨城県では値上がっているが、静岡ではそう上がっていない。製材品については恐れていたほどの停滞感はなく、そこそこ動いている。燃料費の値上がり気が気になる。

○ 茨城県では6月下旬までは共販所への入荷量が昨年の同時期より2割程度増加した。価格についてはスギの価格が値上がりしており、ヒノキの価格は4月以降から低迷している。中東情勢の関係で燃料油に対する支援が出ているが、運搬費の上昇分等原木価格に転嫁できればよいが川上側へのしわ寄せが懸念される。

○ スギ材価格は保合ながらヒノキは軟化している。ヒノキ材の用途は土台取り以外に見つからず、芯で土台、柱を取った側材の使い道を開拓する必要がある。住宅着工数は低迷が続いていたが、7月8月はそこそこの荷動きがあった。製材品市場の相場が木材取引価格の指標として機能してきたが、工場等との直接値決めの増加で指標の意味合いが薄れてきている。

○ 合板メーカーでは天候等により原木の入荷減となっているところもあるが順調で、在庫は横

ばいである。製品についてはナフサショックの仮需も落ち着き荷動きは悪くなってきている。接着剤の調達不安があったが、直近では希望数量は確保できているが高止まりしている。他副資材含め他経費がの値上がりを製品価格へ転嫁する交渉が難航しそう。

- 栃木県での原木の荷動きは7月の原木取扱量は前年比90%と下がっている。市況全体平均価格についても下がっている状況。スギを中心に引き合いが強まっており8月下旬以降は価格が回復すると予想している。伐採後の造林用苗木が不足しており伐り控えが懸念材料としてある。
- 群馬県では、製材業、需要家の引合は少なく精彩を欠く状況となっている。悪天候等の影響もあり素材生産業者からの供給減となっているが、需要も少ないため混乱はない状況となっている。工場の原木在庫はやや過多の傾向にあり、一部合板メーカーからは引き続き受け入れ制限がある。原木価格については、弱保合から弱含みとなっている。
- 福島県浜通りの共販所での原木入荷量・販売量は、昨年同時期と比較し減少。木材需要はあるが、若干供給が追いついていない状況が続いている。製材用丸太の価格は横ばい、製品材の価格は実質横ばいとなっている。価格と売れ行きが良い状況のため入荷が良くなることを期待したい。
- 全国統計から昨年同月比と前月比において大きな動きは確認できない。価格の所ではヒノキが下落傾向ということと中東情勢について注視する必要がある。
- 茨城県では原木の市場への流通量は夏に入り減少した。虫害被害も少なくスギ原木の引合が強い状況にある。在庫量は少し減少したものの適正範囲内にある。製材品等について、住宅着工は昨年度の反動増があり、スギ集成材は好調に推移している。スギは時期的に需要減や品質低下で価格が下がりやすいが今年は不足感が強く値上げ方向に進んでいる。ヒノキは価格値下がりにより出材減の見込み。製材品については、為替が円安のままならば割安な国産材への需要が増える可能性がある。
- 茨城県において、原木価格が落ち着く時期だがスギ柱材の価格は高値を維持している。一方でヒノキは引き合い弱く価格は下落している。原木価格や燃料費が高騰しており、製品価格の値上げは不可避。原木不足を懸念した原木確保の動きが見られ、スギ柱材の原木価格が高止まりしている要因となっている。

令和 8 年度

第 2 回

関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時：令和 8 年 9 月 8 日（火）

15：00～17：00（予定）

場 所：関東森林管理局 天竜森林管理署 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）木材の需給動向について

- | | | |
|--------------------------------|-------|---|
| ・資料 1 製材用素材、製材品の価格動向 | P 2 | ～ |
| ・資料 2 製材用素材の入荷量・消費量・在庫量・在庫率 | P 2 1 | ～ |
| ・資料 3 「国有林材供給調整対策実施要領」に基づく確認事項 | P 2 4 | ～ |
| ・資料 4 関東局における国有林材の供給状況 | P 2 9 | ～ |
| ・資料 5 関東局の供給調整手段 | P 3 6 | ～ |
| ・資料 6 各委員からの状況報告 | P 3 8 | ～ |

（2）国有林材の供給調整について

（3）その他

3 閉 会

令和8年度 第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

日時:9月8日(火)15:00~17:00

場所:関東森林管理局 天竜森林管理署 会議室

検討委員会 現地視察

○委員

(五十音順・敬称略) 9月8日 9月9日

所 属 ・ 役 職 名	氏 名	出 欠	出 欠
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一	出席	出席
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	磯邊 晋吾	出席	出席
協和木材株式会社 代表取締役会長	佐川 広興	欠席	欠席
東京合板工業組合 業務統括室長	佐々木 祐子	出席 (WEB)	欠席
栃木県森林組合連合会 代表理事専務	佐橋 正美	出席	出席
群馬県森林組合連合会 木材部 販売課長	田村 進	出席	出席
福島県森林組合連合会 代表理事専務	丹治 俊宏	出席 (WEB)	欠席
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域 領域長	都築 伸行	出席	出席
株式会社堀江林業 代表取締役	堀江 賢一	出席	出席
茨城県県北農林事務所 林務部門長	村田 万里子	出席 (WEB)	欠席

○関東森林管理局

官 職	氏 名	出 欠	出 欠
森林整備部長	金谷 範導	出席	出席
資源活用課長	安嶋 博志	出席	出席
東京事務所 副所長	川添 貢	欠席	欠席
企画官(木材需給対策)	松坂 勝士	出席	出席
技術指導官(木材供給担当)	藤嶋 学	出席	出席
長期安定供給係長	齋藤 博	出席	出席
素材供給係長	小柳 勝志	出席	出席
供給計画係長	田中 大貴	出席	出席